

愛・地球博

3月25日(金) 開幕!

1/29 取材

3月25日に開幕する愛・地球博。東海環状自動車道の開通で、会場までの所用時間もぐっと縮まります。ここでは、開幕前の愛・地球博の会場について、西中特派員の皆さんがお伝えします。



(上) 高台から眺めた会場。グローバルループ(空中回廊)が、各パビリオンを結びます。(左)伊藤さんから説明を受ける、右から岩崎さん、山田さん。



環境に配慮された会場づくり

3月25日にオープンする『愛・地球博』。テーマに『自然の叡智』を掲げ、会場の至る所に環境への優しさが詰まっています。

まず、注目したいのが会場の地形です。今までの万博では、開発型が多く、平地をつくってからのスタートでしたが、今回は、自然の地形をそのまま生かした会場となっています。そのため、会場全体をつなぐグローバルループ(空中回廊)は、小さな子どもからお年寄りまで、来場者の負担にならない、バリアフリーの設計になっています。また、このグローバルループは、万博のメインストリートであり、世界をつなぐ輪になっています。そして、構造材には、アスファルトではなく、間伐材・廃木材、プラスチックなどが使われていてリサイクルも可能です。やはり、ここにも環境への優しさが込められています。

ほかに、長久手会場では、もともとあった『愛知青少年公園』の建物や野球場の照明の一部を利用していきます。また、それらは、閉会後再び野球場などに戻される時、再度利用できるように、計画的に建設されています。参加国のパビリオンや、企業が出展する



真剣なまなざしでカメラを構える福地さん。

西中特派員

文：山田寛菜さん
写真：福地亜実さん
インタビュー：岩崎宇宏さん

新時代の幕開け
Special Edition



「EXPOドーム」。開閉会式をはじめ、大型催事が開催できる3,000人収容の半屋外型施設です。それぞれの国のイベント「ナショナルデー」も行われます。

名古屋市パビリオン「大地の塔」。塔の高さは約47m。光・風・水が生み出す偶然のパフォーマンスが楽しめます。地上では、市民から募った切り絵をはめ込んだ「切り絵灯ろう」が彩りを添えます。

突撃インタビュー



(財)2005年日本国際博覧会協会 経営本部 広報宣伝グループ 伊藤恵一さん

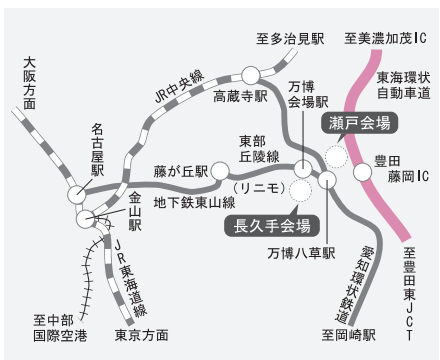
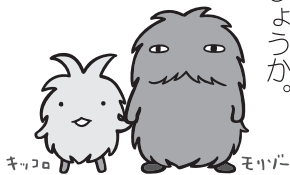
岩崎さん 海外からはどれくらいお客様が来ると見込んでいますか？

伊藤さん 会期中185日間、1,500万人来場していただけることを目標にしています。そのうちの約1割が海外からのお客様と想定しています。主に、アジア近隣諸

国の中国、韓国、台湾の方が多いのではないかと見込んでいます。

岩崎さん 1番の目玉は何ですか？

伊藤さん すべてが目玉だと言いたいです。世界各國が一つの場所に集まって、独自の文化や技術を見せる場は、万博以外ではほとんどないのではないかと思います。いろいろな国の文化や食、最先端の技術を楽しんでもらえればいいと思います。一方で今回の万博は、市民参加型の万博でもあり、市民の人たちのプロジェクトにも注目していただきたいと思います。



(財)2005年日本国際博覧会協会 本部
電話:0561-61-2005

ホームページ <http://www.expo2005.or.jp>

※会場へは、交通渋滞の緩和・環境負荷軽減のため、公共交通機関の利用にご協力をお願いします

■入場券

| 入場券種別 | 区分 | 前売価格 (3月24日まで) | 会期中価格 |
|-------|-----|-------------------|--------|
| 普通入場券 | 大人 | 4,100円 | 4,600円 |
| | 中人 | 2,300円 | 2,500円 |
| | 小人 | 1,400円 | 1,500円 |
| | シニア | 3,300円 | 3,700円 |

※入場券の種類、区分、販売場所など詳細については、ホームページをご覧ください